

## 新型コロナ不安の今こそ、労働組合の存在をアピールしよう！

2020 年 5 月 / 日本医労連組織共闘局

日本医労連は、安全・安心の医療・介護・福祉の実現のため、社会的に影響力のある組織をめざして組織拡大の取り組みをすすめ、各加盟組織においてもご奮闘いただいているところです。しかしながら、昨年末以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、毎月拡大や新人 100%加入の取り組みに大きな影響を及ぼしています。特に、人との接触を回避するため医労連共済や労働組合の説明会などの縮小・中止を余儀なくされるなかで、新人 100%加入の取り組みは前年度の 6 割強という深刻な状況となっています。一方で、このような状況の中でも取り組みを工夫しながら新人拡大をすすめている組織があります。また、新型コロナウイルスが蔓延するなかで、不安を抱えながら医療・介護施設に勤務する多くの労働者の拠り所として労働組合が役割を果たし、組合加入がすすんだという報告も入っています。

新型コロナウイルス禍によって医療・介護の提供体制の脆弱性が明らかになるなかで、医療・介護の労働組合が求められる役割はこれまでになく大きくなっており、多くの仲間を組織するチャンスとなっています。

### 新人拡大の取り組み

当面は、大勢の職員を集めての組合説明会は困難な状況です。しかし、大変な状況の中で勤務する新入職員の多くは不安を抱えており、いつでも相談できる労働組合の存在を必要としています。新入職員の氏名・配属先を明らかにし、職場での声掛けをすすめましょう。

### 一人ひとりとの対話による拡大

一人ひとりの職員と対話することで、より詳しく労働組合の重要性や医労連共済のメリットを伝えることができます。組合拡大の対話目標を掲げ、職場での声掛けをすすめましょう。

### 加入グッズの活用

医労連では、新歓グッズとしてボールペンとクリアファイルを作成して取り組みを促進してきました。これらのグッズを、新卒以外の職員の加入促進グッズとして活用することとします。グッズを活用して取り組みをさらに広げていきましょう。

### 医労連共済の活用

医労連共済では、新型コロナウイルス罹患による休業は「不慮の事故」扱いとなるため、格段の給付を受けることができます。

現在、新型コロナウイルス感染症の広がりや、一定程度、抑えられつつあります。しかし、医療や介護、福祉の現場は引き続き厳重な対策が求められます。また、第 2 波、第 3 波に備えた医療・介護の提供体制を早急に確立しなければ医療崩壊・介護崩壊も起きかねません。世論を動かし、政策を転換させることができるのは、医療・介護・福祉の現場ではたらく私たち労働者です。職場が大変な今だからこそ、労働組合の存在をアピールし、組織拡大を大きくすすめましょう。

以上